平成３０年５月２１日

３０年度相談役・役員２０名各位

㊨ 委　員

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニティ」
会長　中　村　一　雄
TEL　７２－５６４４

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」

６月度役員会開催のお知らせ（ご案内）

ご多忙のところ、万障繰合わせの上ご出席の程、よろしくお願いします。

日　時：平成３０年６月３日（日）　１０：００～１２：００

場　所：逆瀬台小学校内　「ゆずり葉コミュニティルーム」

≪ 議　　題 ≫

報　告

(1)「コミュニティ・スクール」について　（学校教育室）

(2) ゆずりは会 「ゆずり葉まつり」について　(PTA)

(3)「まちづくり計画見直しガイドライン（案)」について　(ｺﾝｻﾙ)
資料　別冊　＆　「ゆずり葉だより」夏９２号１面・２面

(4) 4/29(日)、「４月度定時役員会議事録」について　（書記）
資料　１～２／１２頁

(5) 4/11(水)、第１回まちづくり協議会代表者交流会報告について　（会長）
資料　３～８／１２頁

(6) 5/9(水)、第２回まちづくり協議会代表者交流会レジメについて　（会長）
資料　９／１２頁

(7) 5/25(金)、まちづくり計画見直しガイドライン(案)に対する意見について　（会長）

(8) 5/31(木)、部会活動参加調整表について　（活動局長）

(9) 6/29(金)、平成３０年度若手職員行事参加調整表について　（活動局長）

(10) 7/19(木)、「宝塚市行財政白書」学習会について　（事務局長）
資料　１０／１２頁

(11) 7/1 付発行の「ゆずり葉だより」夏第９２号について　（事務局長）
引取り＝6/10(日)午後２時～午後３時　尚、6/6(水)に納品で 6/7(木)引取り可能。

議　案

(1) 県民交流広場「地域力の強化事業」備品購入の補助金申請について　（会長）

(2)「コミュニティ協賛金」について　（事務局長）
資料　１１／１２頁

(3) 平成３０年度「活動登録助成金配布表(案)」について　（活動局長）
資料　１２／１２頁

＊＊　その他事項について

(1) 役員交代について＊逆瀬川グリーンハイツ自治会：遠藤捷爾　氏⇒浜崎史孝　氏

以　上

ゆずり葉だより

ゆずり葉コミュニティ

逆瀬台小学校区
10.000人のまちづくり

健康で明るく楽しいまちづくり

編集・発行／ゆずり葉コミュニティ　事務局・広報　〈発行部数〉4,700部
〈住　　所〉〒665−0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号　宝塚市立逆瀬台小学校内
〈Eメール〉yuzurihacom@a.zaq.jp　〈連絡先〉中村 TEL72−5644
〈掲示板〉http:// 8507.teacup.com/yuzuriha/bbs（自由投稿版）
〈ブログ〉http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230
〈ホームページ〉http://yzrh.exblog.jp/　〈TEL/FAX〉0797−73−8839

ゆずり葉コミュニティ ブログ・QRコード

夏　第92号

地域ごとの「まちづくり計画の見直し」を始めました!!

(1) 概　要

宝塚市（以下「市」）では平成33年度（2021年度）から10年間を計画期間とする「第6次総合計画」がスタートします。そこでこの計画に反映すべく平成31年度末までに「地域ごとのまちづくり計画」の進捗状況の確認と現状分析を行うことで抜本的に見直し、とりまとめることになりました。また、市民主体のまちづくりを目指し、市の主導により概ね市内20のまちづくり協議会への支援が強化され、地域自治の着実な推進を図ります。

市が住民自治組織支援策の一つとして業務委託を行っているコンサルタント業者「関西総合研究所・OM環境計画研究所共同企業体」と当会は、前年度において役員会議で3度話し合いを行いました。そして、「まちづくり計画実行委員会」を立ち上げて計画の見直しに着手しています。

「宝塚市」と「宝塚市社会福祉協議会」は、連携と協働のまちづくりに向けて役員会に毎回出席して下さっています。

(2) 「まちづくり計画」の取組み経緯

当会は、市に対して平成15年12月に市域で最初のまちづくり計画書を提出しました。それを単なる計画で終わらせないため具体化するための推進会議を県・市行政とともに開催してきました。フォローアップは、主体が市民か行政か、また事業者を含めた協働で行うか、それらの点を短期・中期・長期に分けて話し合いを行ってきました。毎年総会資料に計画書を添付し、完了したものは取除き、計画の実現化を図ってきました。

事例としては、光ガ丘自治会がバス時刻の夜間延長と増便をバス経路の他校区との折衝により具体化しました。また、逆瀬台自治会の都市計画マスタープランに基づき、「花と緑の公園都市宝塚に相応しい逆瀬台の景観づくり」をテーマにした、10年間の街路樹の整備事業が完了しました。

阪急バス時刻増便・夜間延長

紅白のサルスベリを交互に植樹

(3) 「まち歩き」を実践しました

地域ごとの「まちづくり計画」に欠かせない内容の一つに「まち歩き」があります。地域の各所を歩きながら新しい視点で「わがまち」の魅力と宝物を再発見し、景観計画や防犯計画等「まちづくり計画」の見直しに織込むことができます。

①平成30年3月29日（木）、老人ホーム「宝塚エデンの園」のバス停前に第2地区防災会の16自治会ならびに地元の宝塚高校と宝塚西高の生徒・職員等の53名が集まりました。行政からの防災知識の説明を受け、逆瀬台地区の12箇所の土砂災害警戒区域ポイントに立ち寄り、「まち歩き」しながら、逆瀬台1丁目のファミリーマートまでの危険地域を踏査しました。

防災宝塚逆瀬台地区土砂災害警戒区域として急斜面崩壊・崖崩れ（12箇所）、土石流（2箇所）の裏山、逆瀬川及び白瀬川を高校生と一緒に現地踏査しました。

②当会は、エイジフレンドリーシティの「お互いさまがあふれるまち宝塚」を目指して、子どもから高齢者まであらゆる世代が元気になり、人と人がつながるための事業活動を行っています。

その取り組みの一つとして、域内の公園の活用、花壇づくり、また自然豊かな裏山でのボランティア活動をロードマップにしています。平成30年4月8日（日）、ロードマップ完成記念として多世代が参加して「まち歩き」を行い、地域の魅力を確認するエイジフレンドリーシティ・ウォークラリーのイベントを開催しました。

イベントルートの集合地点を7箇所にしてスタート地点の「光ガ丘自治会館前」には30名が集い、途中で合流しながら最後には総勢70名となりました。ゴールの「ゆずり葉緑地公園」では自作の凧や30連凧をにぎやかに揚げて楽しみました。

光ガ丘自治会館前―光ガ丘登山口―青葉台登山口―逆瀬台センター―北逆瀬台登山口―西逆瀬台登山口―ゆずり葉緑地公園のルートを明るく、楽しくまち歩き。

(4) 宝塚市社会福祉協議会とのさらなる連携・協働の推進に向けて

平成28年度～平成29年度にかけて国・厚生労働省から「我が事・丸ごと地域共生社会」の実現に向けた具体的内容の通知が出されました。この施策方針に沿って宝塚市社会福祉協議会（以下「社協」）は、平成29年度～平成33年度を一つの期間として「第6次地域福祉推進計画」を策定して積極的な事業の取組みを進めています。

その推進計画には「小学校区ごとのまちづくり計画」の見直し時は、社協地区センターが窓口となる、とあります。当会が活動を進める上で、行政と並んで、社協とのさらなる連携・協働が鍵となります。

逆小「福祉ネットワーク会議」は、14団体の代表者40名が集まって行われ、社協がファシリテーターとなって、ワークショップ形式で福祉課題を議論。

社協は、平成29年度で福祉コミュニティ支援事業の見直しに向けて、市域20のまちづくり協議会で構成する「ワーキングチーム会議」を設置し、ワークショップ形式で4回議論を行いました。さらに、社協との各種会議で提案された地域福祉の課題をまちづくり計画の見直しに反映させ、それを実行してゆきます。超高齢化・少子化、人口減少が続き加えて福祉ニーズが多様化・複雑化した地域の実情に応じた体制づくりが求められます。当会では、地域住民一人一人の積極的な地域活動へのご参加をお待ちしています。

2面に続く

平成30年度定時役員会（総会）を開催
ゆずり葉コミュニティの役員・委員が決定

平成３０年度定時役員会が、４月29日（日）、ゆずり葉コミュニティルームで開催されました。報告事項２件と議案３件が全員の賛成により原案通り承認されました。

尚、活動報告、会計報告などについては、前号の「ゆずり葉だより春第91号」をご覧ください。

《五役名簿（5名）》

相談役	井筧曄雄
会長	中村一雄
事務局長	石谷清明
活動支援局長	古泉義太郎
特命部長	光村正生

《監査役員（1名）》

監査役員	遠藤捷爾

《事務局委員名簿（5名）》

広報委員	北川順子
〃	篠原和豊
書記委員	高崎恒子
経理委員	山川恵美子
施設委員	中村一雄(兼)

《活動局委員名簿（10名）》

活動委員	西澤芳正
〃	千秋良雄
〃	大迫規子
〃	清水妙子
〃	久原正基
〃	宮部鶴子
〃	大河原礼子
〃	石谷清明(兼)
〃	内田佑子
〃	村田敬子

《平成30年度役員名簿（19名）》

自治会及びマンション管理組合	役員名
逆瀬台自治会	大澤喜弘
〃	湯浅　忠
光ガ丘自治会	古泉義太郎
〃	小畠一郎
阪急逆瀬台アヴェルデ自治会	外山算彦
〃	梅原誠人
逆瀬川グリーンハイツ自治会	浜崎史孝
〃	柳瀬邦雄
阪急青葉台自治会	光村正生
〃	大森正広
逆瀬川マンション自治会	山本　勝
宝梅園団地自治会	梅原道子
宝塚西山住宅自治会	本行正信
ゆずり葉台自治会	源島哲夫
阪急逆瀬台マンション自治会	石谷清明
逆瀬台２丁目自治会	中村一雄
逆瀬川パーク・マンション自治会	平塚圭子
逆瀬台住宅管理組合	西川雅己
シャンティー逆瀬川管理組合	原田充成

● 逆瀬台小学校区　選出者

《 宝塚市自治会連合会役員名簿 》

会長＝中村一雄、理事＝古泉義太郎
理事＝石谷清明

1面から続く

(5) コミュニティ・スクールを目指して

今、全国に広がっているコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）をご存知でしょうか。市教育委員会は、現状の学校応援団等の一体的推進を図り、学校評議員制度を「校長・教頭・教員、地域代表、保護者代表」が学校運営に知恵を出し合い意見を反映させる「会議体」に移行する方針を進めています。これによって、子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進します。今後、この制度が各まちづくり協議会に順次導入される予定です。

この他、既に、この４月１日から「小学校体育施設開放事業」の運用に関して、今まで市が個人委託を行ってきた管理指導員制度を廃止し、新たなボランティア役員を選出することとなりました。現在、地域コミュニティでは、コミュニティ・スクールやスポーツ行政を推進する方向にあり、緊急の人材育成が求められています。

(6) 「逆瀬台小学校区自治会協議会」の組織の充実・機能化に向けて

逆瀬川パーク・マンション自治会懇親会

「逆瀬川パーク・マンション自治会」が平成30年3月10日（土）、設立総会を開催。3月22日（木）、連合会加入承認願いを提出。4月１日（日）付で加入、同日、懇親会を開催しました。

市民主体のまちづくりには地域自治の確立が求められます。それには、地域コミュニティの合意形成が諮れる議決機関の確立です。その議決機関の構成員として認められているのが自治会です。当校区には14団体があり、まだ自治会が設立されていないのはマンション管理組合の２つ（世帯数168）だけとなりました。どうか自治会設立と連合会への加入促進をお願い致します。

(7) 計画にある主な緊急まちづくり項目

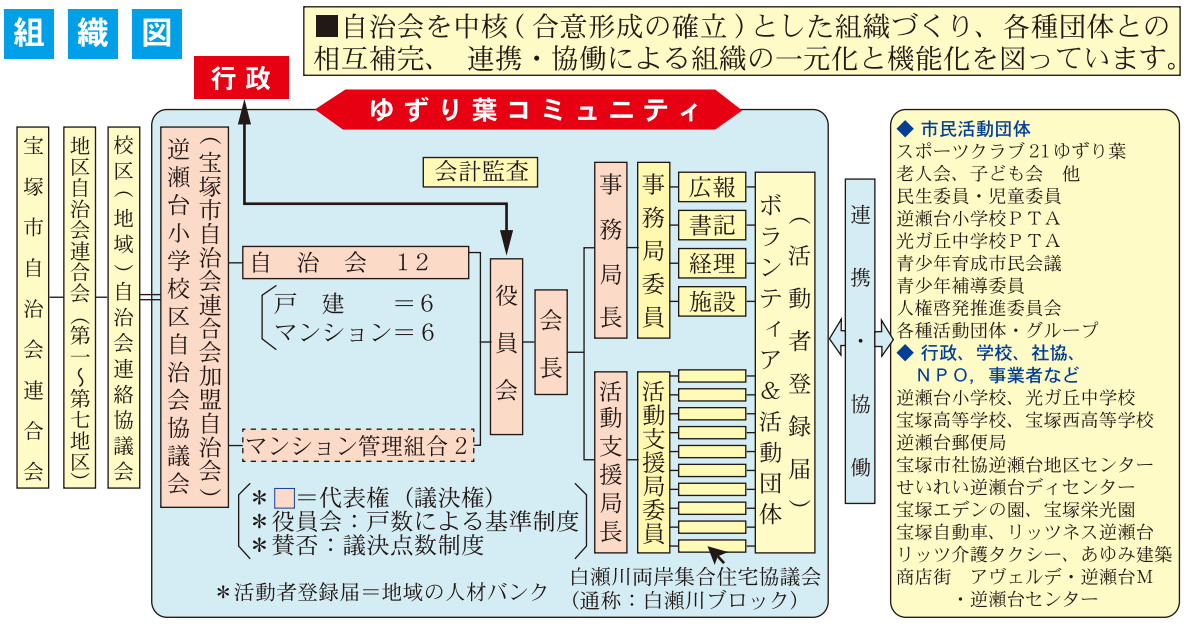
①自然豊かな裏山を地域の「健康づくり散策路」として整備。逆瀬台１丁目白瀬川の「若瀬橋」入口堤防沿いに幅員２ｍ・奥行30ｍの散策路・アプローチを設置する。

②逆瀬台小学校正門から100ｍ下るバリケード箇所は道路指定から学校敷地へ用途変更し、脇の水路上に蓋をして駐車場として有効活用する。

(8) ゆずり葉コミュニティの組織図

（平成20年４月１日から施行の会則による組織図）

■自治会を中核（合意形成の確立）とした組織づくり、各種団体との相互補完、　連携・協働による組織の一元化と機能化を図っています。



(9) 「地域ごとのまちづくり計画」に対する皆様のご提案・ご意見を募集します!!

逆瀬台小学校区の住民の皆さまが、安全で安心していつまでも住み続けたい街づくりを目指して、防災・防犯・環境・健康・福祉・教育・子ども・人権などについて第１回目のご提案・ご意見を募集します。**【用紙は自由】**で当会の役員・委員にご提出ください。また、この広報紙１面の表題欄にあります**【Ｅメール・ＦＡＸ】**をご利用ください。**【締切り】**は、平成30年８月10日（金）。

平成３０年４月２９日
逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆずり葉コミュニテイ」
会長　中 村 一 雄
書記　高 崎 恒 子

「平成３０年４月度定時役員会」議事録

日時　平成３０年４月２９日（日）　10：00　～11:50
場所　ゆずり葉コミュニテイルーム
出席者　議決権者　：中村、石谷、古泉、小畠、柳瀬、大澤、西川、原田
外山、梅原、光村、大森、源島、本行、平塚
遠藤(委任状)、山本(委任状)
非議決権者　：井筧、山川、篠原、日野
行　政　：吉岡課長(市民協働推進課)
社　協　：山本地域担当課長、大関地区担当
（合計２４名）

先ず、定時役員会(総会)の開催にあたり、ご来賓と出席者の自己紹介がなされた。

定時役員会議案書の議事：「平成３０年度定時役員会(総会)議案書」の審議について
資料は、別冊２１頁で議長は中村会長が行った。
報告第１号の「平成２９年度活動報告」の全体活動は中村会長、事務局活動は石谷事務局長、活動支援局活動は古泉活動支援局長が説明を行いこれを承認。
報告第２号の「平成２９年度会計・監査報告」について、会計収支決算書は山川経理委員、監査は遠藤監査役員が入院のため中村会長から説明を行いこれを承認。
議案第１号の「平成３０年度役員・委員名簿」に関して、中村会長から議案書に出ている名簿について次の氏名の新規交代の説明があった。逆瀬台自治会：佐野幸二　氏⇒湯浅　忠　氏、阪急逆瀬台アヴェルデ自治会：栗林和晃　氏⇒梅原誠人　氏、宝梅園団地自治会：木下満江　氏⇒梅原道子　氏、ゆずり葉台自治会：原　裕子　氏⇒源島哲夫　氏、の交代と青葉台自治会：光村正生　氏⇒特命部長(渉外)の選出などが提案され、これを全員一致で決議。
議案第２号の「平成３０年度事業計画」は、報告第１号で説明された会長、局長が事業計画を説明して原案通り決議。
議案第３号の「平成３０年度会計予算」は、山川経理委員が社協の助成金 177,000 円を 173,000 円に修正して「会計収支予算書」を説明し原案通り決議。
以上で、定時役員会(総会)の付議すべき議案は議了した。
尚、「平成３０年度定時役員会(総会)議案書」の１１頁～２１頁は当会の組織構成や

事業方針の重要事項であり、中村会長からの説明と議論がなされた。

４月度役員会の報告事項について

(1) 2/4(日)に開催された「２月度役員会議事録」について
中村会長から、上記議事録について資料１～２/１２頁に記載の通りであり、説明は省略したい旨申し出がありこれを了承。

(2) 2/10(土)、「市民と市長のテーブルトーク」意見・提案の対応報告について
ゆずり葉コミュニティと西山コミュニティからの出席者２３人と市長をはじめ行政８人で話し合われ資料３～４／１２頁のように行政から意見・提案への対応についての回答があった。

(3) 3/14(水)、宝塚市まちづくり協議会代表者交流会(平成29年度・第6回)報告について
中村会長から上記報告について資料５～９／１２頁で説明があってこれを了承。

(4) 4/11(水)、代表者交流会「地域ごとのまちづくり計画見直し」について
中村会長から代表者交流会で各代表が３分の持ち時間で、現行の地域ごとのまちづくり計画の進捗チェック状況の報告がなされた。当会の説明は資料１０／１２頁の通りでこれを了承。

(5) 3/10(土)、「逆瀬川パーク・マンション自治会」設立報告について
パークマンション沖田会長が欠席のため、中村会長から3/10(土)に設立総会開催、3/22(日)に連合会加入申請し4/1(日)付で加入が決定した旨の経過報告を了承。

(6) 3/29(金)、「防災宝塚逆瀬台地区危険地域実地見学」報告について
宝塚第２地区防災会千秋会長の企画立案で危険地域の現地踏査を行い、資料１１／１２頁により中村会長から報告がありこれを了承。

(7) 4/8(日)、「きずなづくり推進事業」について
石谷実行委員長から総額250,000円の事業完了報告がなされ、これを了承。

(8) 小学校体育施設開放に伴う「運営委員会」「管理指導員」について
中村会長から今、全国に広がっているコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）と宝塚市教育委員会が4/1付で既に始まっている「運営委員会」「管理指導員」制度に対するボランティアの人材が求められており、この説明を了承。

(9) 7/1付発行の「ゆずり葉だより」夏第９２号について
石谷事務局長から、同号の原稿締切は5/21(月)、引取りは6/24(日)14時～15時(早期引き取り6/20(水)午後可能）との説明があった。

議　案

(1) 県民交流広場「地域力の強化事業」備品購入の補助金申請について
中村会長から資料１２／１２頁により兵庫県へ上記補助金の上限２０万円を申請するので６月３日(日)の役員会までに提案して欲しい旨の説明があり了承。

以上

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成３０年度・第１回）報告

日　　時　　平成３０年４月１１日（水）１４：００～１６：００
場　　所　　市役所３階　３－３会議室

出席者　　まちづくり協議会（１８）欠席（２）
市民交流部　古家
市民交流部　きずなづくり室　上田
きずなづくり室地域自治推進担当　新城
市民協働推進課　吉岡、山田、大崎、藤田敏明、藤田勝治、阪西、橋詰、鈴木

議事概要（要旨）

１．人事異動に伴う事務局挨拶

人事異動があった職員及び今年度の事務局職員より、まちづくり協議会に対し、挨拶を行った。

２．地域ごとのまちづくり計画見直しについて

各まちづくり協議会より、現行の地域ごとのまちづくり計画の進捗チェック状況の報告を行った。その後、事務局より、市の取組状況を説明し、意見交換を行った。概要は以下のとおり。

【すみれ】
- ２月９日に見直し実施し、３１名が参加して、平成１７年のまちづくり計画に係わった人が７，８名いた。
- 項目についてできているかどうかすべて挙手してもらい、その数を数えた。できているという感想が多かった。地域内で処理できるものについては、ほぼできている。
- できていない項目の中には行政が関わるものが多かった。
- 今後、できるだけ早く行政と相談をしながら進めていきたいという指摘があった。
- 今後の進め方については、プロジェクトメンバーを募集して、そのメンバーである程度計画後、全体で検討する形を考えている。プロジェクトメンバーについては１２，３人くらいでコミュニティすみれの役員、自治会、ＰＴＡ、民生・児童委員を考えている。
- 本日、この後、第一回プロジェクト会議を実施予定。

【末広】
- 現計画があまり周知されていなかったため、現計画を印刷して、各部に現計画の説明をし、できているかできていないか意見出してほしいと伝達した。
- コンサル来て説明を受けたとき、自治会長と役員が集まって今後の進め方を話し合った。
- 前回の計画の策定の際、役員部長・関係団体（ＰＴＡ・子ども会等）にお世話になったため、今回も声をかけてあつまってもらって状況を判断するということにした。
- ここに横断歩道がほしいなどについて各地区ごとに地図上に表されていたので、私がチェックして成果表とした。
- 各項目ごとにできているかのチェックをし、項目そのものを残すのかどうかという点を検討していきたいと思っている。各部役員、関係する事業団体の長でやっていきたい。

【一小】
- ２００項目あったため、４回に分けてチェック。
- 実施中１２０、完了４４、未着手３３、見送り６。
- 目標を作成→「住民が住み続けたいまちづくり　持続可能なまちを目指して」

・前回は６つの部会がそれぞれ決めてたが、今回は絞り込んで３つのテーマにする。
①次世代を育み、将来未来の担い手を育成する→後継者をどう育てていくか。
②地域をつなぐ→お互いさまがあふれるまち、お互いそれぞれが手を結びながらという意味。
③思いをはこぶ→お互いを理解しあって安全安心のまちをつくる。
・メンバーはまち協役員２０名を中心。
・公と民で連携を取りながら今後まちをどうしていきたいか検討する。

【安倉】
・今月に入って役員会で見直しの件をすべてチェックした。
・計画の見直しの中でどういう人に関わってもらうかなどを検討しつつ、全員の総意を反映し、よりよいものにしていきたい。

【宝小】
・チェック項目７３項目。
・未着手３９件、着手予定７件、実施中２６件、　完了１件。
・未着手の内容・・・道路、マニュアルづくり、防犯、中高生のリーダーづくり、環境景観づくり
・着手予定の内容・・・現在のまちづくり計画とおなじような内容のもの
・実施中の内容・・・生活道路安全対策、防災体制、挨拶、見守り、広報活動、世代間の交流、情報交換
・完了の内容・・・ＪＲ宝塚駅の橋上化

【西山】
・現在、遅れている。
・昨年から運営委員会で話はしている。
・チェックリストを配布してまだ回答を得れていない、これを再度確認したい。
・５月３０日に体制がかわるので、その後、策定委員会を置く予定。高校生や大学生も募集しようとしており、高校生２人が参加決定している。
・新しい項目として防災と災害時の要援護者の対策、子育ての支援、高齢者と障がい者の支援、多文化共生社会を実現するという点が挙がる可能性がある。
・全世帯配布は難しいため、各いろんな取組の際に意見募集をする予定。

【小浜】
・平成１７年のときは全世帯にアンケートしたが、今年はアンケート取らない。
・１月と２月に平成１７年に提言したまちづくり計画の読み合わせをし、現在、文言の整理をしている。項目が多すぎたので大変な見直し。
・メンバーは本部、自治会、民生委員など。
・項目の柱として、人権問題・防災防犯は必ずいれようとなっている。

【売布】
・１２月１４日にスタート。
・1月末からチェックシートを各部でチェックしている段階。5月いっぱいまでにはまとめる予定。
・危険地域が今度の見直しで増えた。災害の対策必要。売布の山手地区の循環バスをずっと運航しているが、一回見直そうと道路政策課とやっている。平成３０年度はバスと危険地域をメインにすすめていく。

【山本山手】
・１０年前のまちづくり計画は４自治会。今は８自治会。半分は新しい住民。
・１月にチェックシートを皆さんに配布。配る前に役員会でチェックした後、それをコピー配

布して各自治会や専門部会で書いてもらっている。まだ返事はない。
・平成２８年度２９年度のネットワーク会議でこの地域をどうしたいかということを、問題点と夢を語る形でやっている。その意見を含めて検討していきたい。
・自治会とか民生委員などの各代表が集まる１０名前後の委員会を作っていきたいと思っているが、代表が変わるため、新しい代表になった時点で相談して進めていきたい。

【ゆずり葉】
・関西総研、OMに計３回出ていただき、チェックシートの説明を受けたうえ、全地域に配布して、今後検討していく。
・実行委員会をつくり、今後はみなさんの総意を取りながらやっていきたいと思っている。
・具体的には、まち歩き調査を２つやった。３月２９日、地区内の土砂災害警戒区域について実施した。４月８日、エイジのウォークラリーをやった。きずなの補助金をもらっている。地域の見どころをロードマップにしている。地域内を歩き、調査を行った。
・まちづくり計画の中に入っている道づくりの進捗チェックも大事だが、行政の財源がからむから難しい。西宮北道路の無料化にともなって県道の宝塚分岐点の道路対策の認識喚起をしていただくため、県民局や道路政策課にも話をしている。
・地域ごとのまちづくり計画を平成１５年に出した。実効性のあるやり方のために、行政と推進会議などをやってきている。今後も実効性のあるやり方が必要。

【すえなり】
・当初いただいたチェックシートの案を一部変えた。８０パーセント以上でできているものは○、一部着手は△、まったくできていないは×、わからないは？とした。
・コミュニティに関連する各団体にまとめていただく方法をお願いしていたが、団体によっては個人で報告もあった。
・現在３１の回答→進捗状況のチェックは終了。自分たちができることはほぼ○。×は行政がからむハード面等。分からないという点もたくさんあるため、それぞれの具体的な内容について説明していく必要がある。
・チェックシートの結果と合わせて、子どもたちの意見をイベント時にシール方式で求めるなどして、４つの部会を立ち上げて、まとめていく。
・安全で快適なまちづくり、健康で心が触れ合うまちづくり、街並み景観の美しいまちづくり、心豊かに安心して暮らせるまちづくりという基本目標を基にした解析・見直し策定部会を立ち上げて進めていきたい。

【光明】
・遅れている。
・前の計画を理解することから始める。
・各部会で関係ある部分を念入りにやってくださいとお願いしていて、ようやくそれがまとまったという段階。このまとまったものを皆さんに配って、自分のエリアではないことについても考えてもらおうとしている段階。

【仁川】
・前回のときの役員はほとんどいない。
・以下４つの項目の中でチェックを実施。
①安全で安心で暮らせるまちづくり
②暖かい心を生むまちづくり
③景観を楽しむすがすがしいまちづくり

④健康で安心して暮らせるまちづくり
・実施中５４件、完了４件、未着手１０件、全部で９３項目ぐらい。
・これからはこの結果に基づいてコンサルにも検討していただき、見直しもしていくという状況。

【西谷】
・今年の７月までにチェックシートに基づいて進捗状況チェック。
・皆さんの周知は今年の１月から実施。
・第２段階としては次の計画のビジョンのとりまとめ。平成３１年度には全体の計画のとりまとめ。
・西谷地域は全住民に対し、２８年度にアンケートを実施しているため、課題把握できている。アンケート調査に基づいたまちづくりをできるようにしていく。
・市の計画とは別個に、西谷地域のビジョン協議会を積み重ねてきているため、これをベースにして現状のまちづくり計画を良くしていく。

【長尾】
・４３項目ある、小学校が３校区のため、範囲も広い。項目をハード面とソフト面で分けた。
・ソフト面はだいたい実施できている。
・１１項目について
①天神川等の堤防・散策路の整備　７０か所　５３％が実施中、完了１％
②あいあいパーク　完了３４％　実施中３６％
③通学路に信号機をつけてくれ　実施中６％　完了３％
④バリアフリー化　７８か所　実施中９％　完了１％
⑤街路樹・植木等の整理　７３か所　実施中２９％　完了０％
⑥迷惑駐車　７２件　実施中２６％　完了０％
⑦犬の糞の問題　７４件　実施中２０％　完了０％
⑧家庭ごみの投棄　６９件　実施中２２％　完了０％
⑨子どもや高齢者への声掛け　全体７２　実施中４９％　完了７％
⑩地区の見回り　全体７０件　実施中４１％　完了１０％
⑪防災防犯　完了１００％

【ひばり】
・前回のものを見ている状況。前回は１５０項目から１６０項目。
・市が買った花屋敷グラウンドなどをしっかりと整備していただいて、どう活用していくかを考えていく。
・雨降ったらタクシーも上るのがいやだというくらいの道がある。消防車が入れないとこもある。防災関係のことで市に対して防災のことをしっかりとまとめてやっていきたい。
・今の段階ではできていないが、とりあえず実行委員会を作って、７月末くらいに今の項目に対して判断して、下期に入って３１年度、基本的には実施できるのを主体に考えてもっていかないとよろしくないかなと思う。
・市にお願いする部分あるが、地区でどれだけ完了できるかということを基に進めていきたいと思っている。

【中山台】
・５月２７日の総会の後、体制づくりをして進めたい。
・中山台コミュニティは造成されて４５年経つ。山本山手台と逆の動きになっている。小学校が統合される予定があり、２年後に公立幼稚園が廃止となり、少子高齢化が進んでいる。完成されたニュータウンだったがその姿が変わりつつある。よって、まちづくり計画を見直さないとうまくいかない。
・２６年前に長寿祭り、去年も実施した。対象者は７５歳以上で参加してもらったのは８０名ちょっとだったが、７５歳以上の対象者は１２００名以上いる。催しをしても、結局、全体的な行事ができているのか疑問。構造そのもののデータなり、市に協力いただいてその先の推移を想像しながら決めていく必要があると考えているが、今のところはそのための準備で終わっている。

【良元】
・高齢化進んでいる。理事会・役員会に分けて運営している。役員会でたたき台作ってから理事会へ。
・高齢化のカバー率と認知度。やっているといってもどれだけの人が参加しているのか。
・１３年前このまちづくり計画できた当時は、人がたくさんいてお金もたくさんあった。
・2025 年を見据えたとき次のまちはどんな形になるかを考えないと絵に描いた餅になる。
・３０代、４０代、５０代の働く若い人をどうやっていれるのか。若手をいかにいれるかを最優先。３０代、４０代のお父さん、お母さんを対象とした土日組を考えている。３年先ぐらいに平日の分とドッキングしていく必要がある。
・夢は大事だが、どういう時代なのかをよく見据えた上でまちづくり計画を作らないといけない。
・次の世代にしっかりと引き継ぐ必要がある。

【市の取組状況】
・コンサルは今年度も継続。
・地域カルテ→４月以降の定例会議等で一定案をお示しする。
・見直しガイドライン→５月に案を提示し、ご意見いただいた上、６月完成予定。
・室長級派遣→決定したらお知らせする予定。

【意見交換】
・なぜ過去の計画において実行されなかったかを要検討。
・なぜ実行されなかったかを十分検討の上、過去の失敗を繰り返さないように。
・実効性を高めるためには市民と行政が近づく。
・まちづくり計画あることを見直しの議論が始まって初めて知った。
・少年野球のコーチをしていたが、その際の教え子など若い世代に会議に入ってもらって、発展させていく必要ある。
・市の総合計画は１０か年、その中で地域における計画もマッチさせるとなるとまちづくり計画も１０か年で考えることになる。ただ、１０年で実現できることは知れている。１０年では夢を語れない。どう実現していけばいいか。
・地域の将来像を各まちづくり協議会で描くことが大事。その上で具体的な取組を地域と行政で決めていく。

３．地域活動きずな研修について

事務局より、地域活動きずな研修結果について、資料に基づき、説明を行った。
詳細については、配布資料のとおり。
意見は以下のとおり。
・研修人数は増やすのか。
→市：人数については現状維持の予定。
・参加回数は増やすのか。
→市：まちづくり協議会及び研修職員のアンケートに基づき、検討する。

４．まちづくり協議会補助金補助対象への光熱水費追加について

事務局より、まちづくり協議会補助金補助対象への光熱水費追加について、資料に基づき、説明を行った。
詳細については、配布資料のとおり。
意見は以下のとおり。
・報告事項が大変、ボランティアの域を超えているくらい大変。もっとシンプルにしてほしい。このままでは会計の引き受け手がいない。専門業者に任せた方がいいという意見が出ている。もっと大変さを理解してほしい。
・報告について、県・市・社協で市が一番面倒である。
・事業別に報告するのは大変。
・会計ソフト作ってほしい。

・このくらいの金額でこれくらいのものを出さなくちゃいけないのか。
　→市：まちづくり計画の見直しとともに事務の軽減も含めて検討していく

５．宝塚市安全・安心カメラ（防犯カメラ）設置のご報告について

防犯交通安全課より、宝塚市安全・安心カメラ（防犯カメラ）設置について、資料に基づき、説明を行った。

詳細はについては、配布資料のとおり。

意見は以下のとおり。

・地域で設置する場合、どれくらい費用かかるか。
　→市：機器代・工事費含めて平均３０万円くらいかかっている。市だけでなく県にも補助事業ある。３０万円かかるとして市と県から補助受けたら半額くらいにはなる。
・撮影範囲はどれくらい。
　→市：１０～２０メートルくらい。
・伊丹市は１０００台設置している。宝塚市２８０台。２８０台では見守りカメラにならない。もっと真剣に考えてほしい。補助額が少ない。まちづくりの中で一番大事なのは、防犯・防災。

６．防災行政無線（すみれ防災スピーカー）の整備について

総合防災課より、防災行政無線（すみれ防災スピーカー）の整備について、資料に基づき、説明を行った。

詳細については、配布資料のとおり。

意見は以下のとおり。

・中山五月台小学校は２年先に無くなるが、そういうことも考えて設置場所となっているのか。
　→市：仮に校舎が無くなったとしても、電柱から電気を引いておけば問題ない。
・小浜に設置がない理由はなにか。
　→市：宝塚市役所に設置したスピーカーで聞こえる。約２ｋｍほど届くもの。
・山本山手に無いのはなぜ。
　→市：宝塚東高校のスピーカーで聞こえる。３６０度カバーできるように設置する。
・近辺のほとんどの市でもう設置されている。もっと早く手当をして準備をする必要がある。以後、こういうことに対しては敏感に対応をお願いする。
・スピーカーの性能は。
　→市：スピーカーの性能は約５００ｍほど。
・川面１丁目・２丁目に増やしてもらえないか。検討してほしい。

７．事務局からのお知らせ

下記(1)～(5)について、資料を用いるなどして周知した。

(1)協働の事例集について
(2)新年度まち協推薦委員について
　・宝塚市空家等対策協議会委員　　小浜　藤本会長
(3)兵庫県「平成３０年度阪神北☆夢づくり応援事業」（助成金）について（ご案内）
(4)部会活動への市職員の参加について
(5)宝塚市総合組織図について

８．今後の日程

【決定事項】

平成３０年度の代表者交流会日程について、配布資料「平成３０年度　代表者交流会日程（案）」のとおり決定した。次回日程は以下のとおり。

<u>平成３０年度第２回代表者交流会：平成３０年５月９日（水）１４時～１６時</u>
<u>場所：宝塚市役所３階　特別会議室</u>

平成３０年度　第２回まちづくり協議会代表者交流会

日時：平成３０年（2018 年）５月９日（水）１４時～１６時
場所：　市役所３階　特別会議室

１．地域ごとのまちづくり計画見直しについて（６０分）
⑴代表者の皆様から、現行の地域ごとのまちづくり計画のチェック状況について、１か月間での進捗をご報告していただきます（１人×１分）
⑵計画見直しガイドライン（協働のまちづくり促進委員会委員より説明）
⑶市の取組状況（事務局）
⑷意見交換

２．平成３０年度地域活動きずな研修について（事務局）（１０分）

３．部会活動への市職員の参加について（事務局）（５分）

４．宝塚コミュニティ・スクールについて（学校教育課）（２０分）

５．平成２９年度補助金・助成金事業一覧について（宝塚ＮＰＯセンター）（１０分）

６．事務局からのお知らせ（５分）
⑴新年度まちづくり協議会推薦委員について
・障害者週間記念事業・身体障害者補助犬シンポジウム実行委員　ひばり　松原会長
⑵平成３０年度市民と市長のテーブルトーク開催日程について
⑶兵庫県「県民交流広場を対象とした地域力の強化事業募集案内」について
⑷まちづくり協議会ブログ操作マニュアル（更新版）について（宝塚ＮＰＯセンター）

７．今後の日程
次回日時：平成３０年6月１３日（水）１８：３０～２０：３０
場　　所：市役所３階　３－３会議室

2018(平成 30)年 6 月 21 日

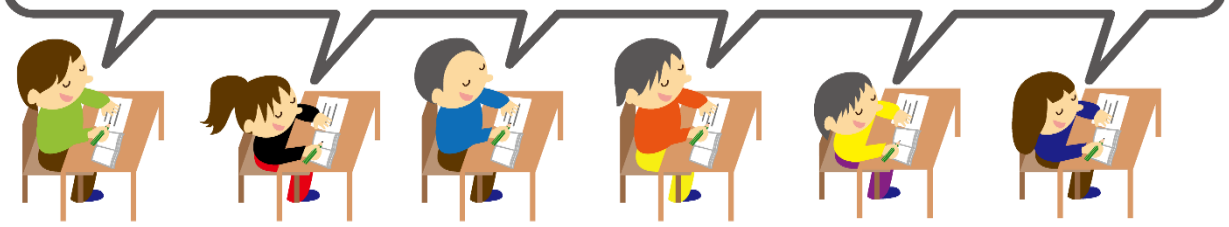
わかりやすい財政学習会のご案内

『宝塚歌劇団』の知名度の高さで宝塚市のブランドイメージは国内では抜きんでています。しかし、残念なことに財政状況は予断を許さない状況にあります。難しい財政やその仕組みについて、解りやすく市民の皆様に身近に感じていただきたく【宝塚市財政白書】(著作者:山本敏晴)を作りました。広く市民の皆様方に理解をしていただくには課題もありますが、一人でも多くの皆様に本市の行財政について関心を持っていただきたく学習会を開催することとしました。

数字で見る“わがまち”の姿【宝塚市行財政白書】

開催日:平成 30 年 7 月 19 日(木)
時　間:13 時 30 分～15 時 30 分
(受付 13 時)事前申し込み不要
場　所:宝塚市総合福祉センター3F 大ホール
宝塚市安倉西 2 丁目 1-1　TEL:0797-86-5000
講　師:　山本敏晴(やまもととしはる)さん

関心のある方ならどなたでも参加 OK です。(無料)



《講師プロフィール》
※金沢大学法文学部　経済学科卒業(専攻　財政)
※金融機関勤務
※宝塚市行財政改革推進委員(平成 22 年度)
※宝塚市行政評価委員(平成 27 年度～平成 29 年度)

主　催　:　宝塚市自治会連合会
お問合せ:　自治会連合会事務局・宝塚市市民協働推進課内
TEL:0797-77-2051

平成３０年6月3日

関 係 各 位

逆瀬台小学校区まちづくり協議会
「ゆ ず り 葉 コ ミ ュ ニ ティ 」
会　長　中 村 一 雄

『コミュニティ協賛金』支払のお願い

初夏の候、時下ますますご隆盛のこととお喜び申上げます。

地域住民参加の逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」も今年度で２３年目を迎えることが出来ました。

住民の方々より大きなご協力と多大なご理解を頂き、光が丘、青葉台、逆瀬台、ゆずり葉台と４千世帯、１万人のまちづくりを「福祉」「教育」「環境」などの活動を通じることにより、私たちの愛する街をより住みやすい、ふれあいのある地域にしていくよう、一人一人が連携を深めていく所存です。

つきましては、平成３０年度の役員会において、承認されました今年度の「コミュニティ協賛金」のご協力をお願い致したく、下記にてご案内申上げる次第です。

この「協賛金」は、まちづくり活動に役立てるものであり、一世帯当たり年額３０円とさせて頂きます。何卒、よろしくご高配を賜りますようお願い申上げます。

記

⑴ 協　賛　金　　一世帯当たり年額３０円（原則として）

⑵ 支 払 手 続 き

① 振込の場合

●振　込　先　　三井住友銀行　　逆瀬川支店

口座番号　　普通　　４０５９６９５

口座名義　　ゆずり葉（は）コミュニティ
会長（かいちょう）　中（なか）　村（むら）　一（かず）　雄（お）

●振 込 期 限　　７月末日までに振込をよろしくお願いします。

② 現金支払の場合

当日、役員会が開催される**８月５日（日）午前９時５０分～午前１０時**の間に経理委員がコミュニティルームに居ますので領収書と引き換えによる支払。

以　　上

平成３０年度活動助成金配布表（案）

名　　称	配賦額=千円 （ ）＝財源元	代表活動申請者
①　光ガ丘クラブ（自治会・老人クラブ）	９０(社)	古泉・西澤
②　光ガ丘クラブ（福祉活動）	３０(社)	吉川睦美
③　逆瀬台桜まつり	３０(市４)	大澤喜弘
④　逆瀬台夏祭り	６０(市４)	大澤喜弘
⑤　逆瀬台文化祭	８０(市４)	大澤喜弘
⑥　逆瀬台自治会(福祉部さつき会・サロンド逆瀬台)	３０(社)	大澤喜弘
⑦　ゆずり葉健康づくり推進活動・散策路整備会議	１０(市活)	中村一雄
⑧　シネマ　シアタークラブ	２０(市活)	千秋良雄
⑨　ゆずり葉健康カラオケ教室（逆瀬川M集会室）	２０(市活)	尾川三代子
⑩　ゆずり葉健康カラオケサロン（逆瀬台デイＳｾﾝﾀｰ）	１０(市活)	久原正基
⑪　白瀬川の自然を守る会	２０(市活)	石谷清明
⑫　白瀬川両岸集合住宅協議会	３０(市活)	石谷清明
⑬　関西学院大学グリークラブ演奏会	２０(市活)	浜崎史孝
⑭　逆瀬川グリーンハイツ夏まつり	２０(市活)	浜崎史孝
⑮　ゆずり葉シニアサロン（会場使用料４万）	１０+(４０) (社)	内田佑子
⑯　ゆずり葉いけばな子ども教室	２０(市活)	清水妙子
⑰　ゆずりは文化教室	３０(市活)	石谷清明
⑱　ふれあいサロン・アヴェルデ	１０(社)	大迫規子
⑲　午後のふれあいサロン・ひまわり	１０(社)	宮部鶴子
⑳　なごみサロン	３(社) ７(市活)	西川雅己
㉑　遊楽里・西山	１０(市活)	大河原礼子
㉒　青葉台老人クラブ「青葉会」	２０(市活)	光村正生
㉓　サロン青葉	２０(市活)	村田敬子
予算：市活動=267 千円、市4=170 千円、社=173 千円＋(40 千円)	６１０+(40)	―

★ 年末年始地域ささえ愛事業３万円は１０月７日の役員会で決定する。